



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田赤十字乳児院

〒010-0041
秋田市広面字釣瓶町100-3
T E L 018-884-1760
F A X 018-884-1762
相談電話 018-884-1761
URL <http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>

広報誌 第 1 2 号

よちよちちゃん



～ご視察～

常陸宮妃殿下華子さまは、笑顔で子どもに話しかけ一緒におもちゃで遊んで
くださいました。 — 10月 9日 —

常陸宮妃殿下華子さま乳児院をご視察

10月9日(木) 日本赤十字社名誉副総裁常陸宮妃殿下華子さまが、当院をご視察されました。

院長が乳児院の概要などをご説明し、事務長、看護師長と共に、院内をご案内致しました。

生後2ヶ月から3歳まで26名の乳幼児が3クラスに分かれて遊ぶ様子を見学されました。

年長児のクラスでは、絵本を見たり、はめ絵をして遊んでいる子ども達に、「その絵本は、なんですか?」「じょうずにできましたね」とお声をかけてくださいました。

子どもたちは、優しいお声かけにおめめをまんまるくしてしっかりと見つめていました。



年少児のクラスでは、保育士に、「赤ちゃんは、何ヶ月ですか?」「ミルクは何cc飲まれますか?」と質問をされたり、「風をひかないようにね」とお声をかけていただき、やさしいお人柄に触れることができました。

心待ちにしていた華子さまをお迎えできる日、職員も子どもたちも喜びと、緊張でいっぱいでした。・・・華子さまは、子どもの目線で、笑顔で優しくお声をかけてくださり、和やかな雰囲気が広がりました。

思い出深い時間を過ごす事ができました。



華子さまは、「その絵本は、なんですか」とお声を掛けてくださいました。

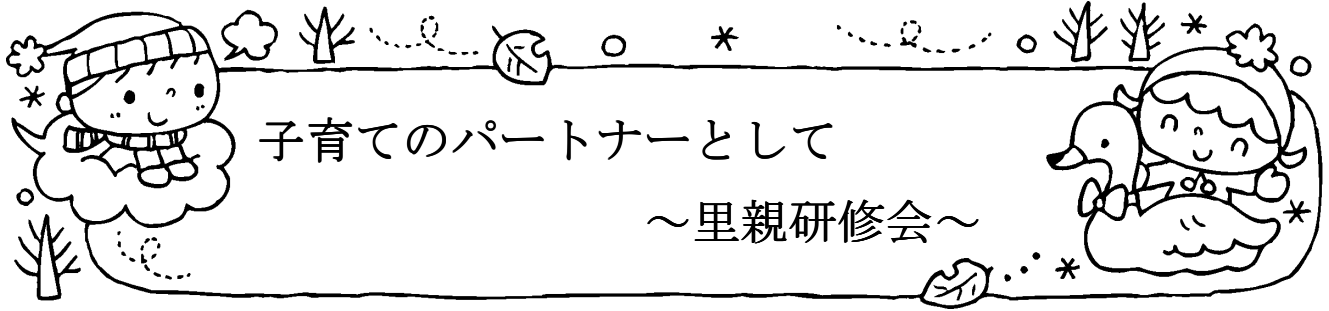
華子さまに感激

「この仕事は、何年目ですか」「もうなれましたね」とお声をかけて頂きました。間近でお目にかかり緊張しましたがとても嬉しかったです。乳児院でお仕事できたお陰で良い記念になりました。 佐川保育士



知事 日本赤十字社社長
華子さまは、見送りの地域の方々にお声を掛けられました。

華子さまは8日、日本赤十字社秋田県支部の創立120周年記念大会出席のため、来県されました。秋田赤十字病院や日本赤十字秋田短期大学もご視察されました。



多くの里親さんに「乳児院を知ってもらいたい」「院の子どもたちと触れ合ってもらおう」という願いで、はじめた里親研修会です。

11月30日に行われた4回目は、新規登録された里親さんが集まりました。季節柄、子どもたちの体調が悪く予定を変更しての開催となりました。研修会に参加された里親さんのアンケートには、

- 「子どもと少ししか関わることが出来ず残念だった。」
- 「情報が、もっと欲しい。」
- 「里親制度をわかりやすく説明して欲しい。」
- 「里親どうしの交流をもっと増やしてもらいたい。」

など意欲的な意見が寄せられました。

子どもたちのために、乳児院の職員と里親さんがパートナーとなり、たくさんの幸せを応援していきます。



ぶどうのシール貼りに夢中！おいしくできたかな。
(第3回研修会より)



元気に選手宣誓をする子どもたち
「エイエイオー」「がんばります」

あいにくの天候で室内での開催となりました。運動会に向けて練習をしてきた『玉入れ』、『よーいドン』、『ハイハイ競争』などのプログラムが進み、恒例の職員によるダンスやパフォーマンスの頃には、会場も最高潮に盛り上がりました。フィナーレは、子ども達もカニになってダンシング。いつの間にかステップをマスターしたのかHくんは、最高にノリノリでその姿に刺激された地域の方々も一緒に、参加者全員でいい汗をかきました。

2ヶ月経った今でも、運動会記録のビデオは、子ども達に一番人気です。



フィナーレで盛り上がる会場は、熱気ムンムン、カニがいっぱいです

ぱくぱく食育ふらざ



～元気な体は、健康な食から～

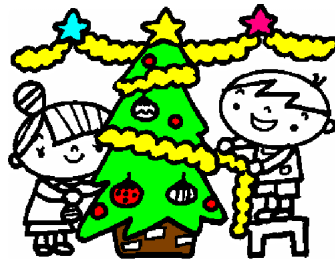
今年、乳児院の菜園は、ボランティアの工藤さんから野菜作りの手ほどきと天然の堆肥をいただき、きゅうり78本、トマト36個、ピーマン125個、ナス34本、ミニトマト100個、スイカ1個、かぼちゃ1個を収穫しました。形も大きさもさまざまでしたが、まさに、自然の味を味わうことができました。味覚が敏感な幼いうちに食材そのままの旨みをできるだけ多く体験させたいものです。



おばけきゅうりだ～！
来年もこんなのたくさん採れるといいかな？！

トピックス

光のボランティア



イオンデライトの皆さんが来院し、室内灯を点検、交換してくれました。
ライト交換後、スイッチをON。
「わ～、ついたよ。」と、子どもたちから歓声が上がりました。
冬季間にふさわしく暖色系のライトに照らされた院内は、ほんわかとした暖かい明るさに包まれました。



たかーい天井の電球もちょちょいと交換。
作業中のイオンデライトの皆さん



オレンジリボン運動

子どもへの虐待をなくそう

オレンジリボンには「子ども虐待防止」というメッセージが込められています。
子どもたちに希望あふれる明るい未来を届けるのは私たち大人の役目です。



編集後記

玄関ホールにクリスマスツリーが飾られ、赤、青、黄色の電飾で輝いています。院でお預りしたことのあったNちゃんのご家族が、子どもたちにお花を贈ってくださいました。その真っ赤なシクラメンも加わり華やかさを増しています。

シクラメンは、葉の数だけ花が咲くといいますが、笑顔の数だけしあわせが咲く……

来年も子どもたちにたくさんの笑顔が咲きますように。

